

平成29年10月24日

保護者 様

柏市立大津ヶ丘第二小学校  
校長 富澤 英樹

## 平成29年度 柏市学力・学習状況調査結果について

初秋の候、保護者の皆様には日頃より教育活動にご協力いただきありがとうございます。さて、標記調査結果を基に分析を行いましたので以下のとおりお知らせいたします。今後は、学習指導や生活指導の工夫改善を図るとともに、ご家庭との一層の連携により、お子様たちの学力向上に努めてまいります。

### 1 調査内容等

平成29年 4月13日（木）実施

2年生，3年生，4年生，5年生；国語，算数，生活・学習意識調査

6年生；国語，社会，算数，理解，生活・学習意識調査

※各教科の内容は昨年度の学習内容で、基礎的な内容及び活用的な内容を含む問題で構成されています。生活・学習意識調査は、学習意欲や学習方法、生活等のアンケート調査です。

### 2 国語の調査結果

#### (1) 結果の概要

学校全体として国語の正答率（以下、結果と記載）を見ると、全国平均を若干下回っています。基礎的な履修内容の習得はあと一步といったところですので、ここを伸ばすことで活用力も伸ばすことが期待できます。

#### (2) 成果

- ・経年比（同学年の下の学年からの比較）を見ると、前の学年と同等か伸びが見られる学年がほとんどです。
- ・漢字の読み・書きは概ね全国平均並みに習得できています。

#### (3) 課題

- ・6年生を除いて作文の問題の正答率が低く文章表現力に課題が見られ、書く力をつける必要があります。
- ・下学年では集中して聞く力（聞き取り）を身に付けることに課題が見られました。
- ・上学年において、「主語・述語」等の基本的な文法をしっかりと理解することが望まれます。

#### (4) 今後の取り組み等

- ・主に高学年を中心として活用力（思考・判断・表現）を伸ばす手立てとして、資料からの情報収集・整理等の学習を他教科とも関連付けて取り組んでいきます。
- ・日記や作文等をおして、書く力や文章構成力を身に付けていきます。
- ・学習規律や発表の場をおしての、聞く力（集中力）を高めていきます。

### 3 算数の調査結果

#### (1) 結果の概要

学校全体を見ると、6年生は活用力の結果が全国平均を上回り柏市平均とほぼ同等の結果でしたが、他の学年は若干下回る結果となりました。また、どの学年もまずは基礎的な力を確実に習得していく必要があります。

## (2) 成果

- ・基礎的な計算力は概ね理解できています。
- ・経年比を見ると、前の学年から伸びが見られる学年が半数ほど見られました。

## (3) 課題

- ・学年ごとに苦手とするところが異なるため、一様には言えませんが文章問題を読み取る力や計算のきまり、百分率などの理解に課題が見られました。

## (3) 今後の取り組み等

- ・学習の系統性を見極めて、今年度の授業をとおして課題となる学習内容の復習も行えるように指導の工夫を図ります。
- ・きめ細やかな指導が行えるように指導体制を再考し、少人数やチーム・ティーチングの指導形態を採っています。

## 4 社会・理科の調査結果（6年生のみ）

- ・社会の「工業生産と貿易」については、全国平均を上回る結果でしたが、全般的には更に理解を深める必要があります。
- ・理科は「天気の変化」の学習内容がよく身につけている結果でした。

## 5 生活・学習意識調査

### (1) 調査結果の概要について

- ・どの学年の児童も9割以上が将来の夢をもっていて、それに向かって努力しているという結果が見られました。しかし、学習に関しては課題を意識して授業に臨んでいるという回答が8割程度に止まり、学年が上がるにつれて「とてもあてはまる」と回答した児童が減り、「あてはまる」が増加傾向です。更に、「決まった時間に宿題をしていますか。」の問いになると同様の傾向がみられるだけでなく、該当する児童も6割強となっています。
- ・「家の人と学校のできごとについて話をしますか」の問いに対しては、6年生の8割が当てはまる回答が一番高く、学年が下がるにつれて減少傾向にあります。
- ・「自分に良いところがあると思いますか」の設問にはどの学年も3割前後が当てはまらない回答を示しており、自己肯定感を高める必要性が感じられました。
- ・学級の友達関係に関する問いに対しては、どの学年も仲の良い友達がいると回答した児童がほとんどでした。

### (2) 学習状況をよりよくするポイントについて

日課変更のお知らせをした際にも触れましたが、本校の児童は学習面でまだまだ伸びる力を出し切れていない状況が見られます。そのため、学校でも指導体制や指導方法の工夫を図って学習面での向上を目指していますが、ご家庭でも以下の点でお力添えください。

○学習用具等の忘れ物がないように声掛けをする。

← 低学年だけでなく、中学年もお子さん任せにならないようにしてください。

○家庭学習や宿題は時間を決めて習慣づける。

← 毎日決まった時刻に決まった時間取り組み、おうちの方が確認してください。

時間の目安；学年の数×10分（例；6年生なら学年の数6×10分＝60分）

○自己肯定感を高める。

← 些細なことでもよいので、できたことや頑張ったことを褒めてください。やる気につながります。